様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和8年6月29日

茨城県知事　大井川　和彦　　殿

提出者

住所　茨城県猿島郡境町西泉田1443-3

氏名　旭化成建材（株）ネオマフォーム工場

工場長　　山川　孝喜

電話番号　　0280-87-5113

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旭化成建材株式会社　ネオマフォーム工場
事業場の所在地	茨城県猿島郡境町西泉田1443-3
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	プラスチック製品製造業
②事業の規模	出荷額　16,413百万円
③従業員数	108人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・廃プラ：再生処理業者へ委託し焼却後原料として再資源化 ・廃アルカリ：再生処理業者へ委託し焼却、混合し原料として再資源化 ・廃酸：再生処理業者へ委託し焼却 ・ガラス屑：再生処理業者へ委託し溶融後原料として再資源化 ・木屑：再生処理業者へ委託しチップとして再資源化 ・乾電池：再生処理業者へ委託し亜鉛原料として再資源化 ・蛍光灯、水銀灯：再生処理業者へ委託し完全分別し再資源化 ・グラスウール、ケイカル：最終処分業者へ委託し埋設処理 ・廃油：再生処理業者へ委託し混合処理され再資源化

(日本工業規格A列4番)

茨城県 令-8.6.29 県西県民センター 受付

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
※別紙（P22）管理体制参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度(令和7年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ
排出量	2161 t	3673 t

(これまでに実施した取組)
・廃プラ…高収率による不良削減、設備増強による含水率の減少、トリム回収設備によるマテリアルリサイクル安定原料化
・廃アルカリ…設備の安定生産対応（トラブル削減することで洗浄液使用の削減）、設備の洗浄方法改善検討

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ
排出量	2334 t	3967 t

(今後実施する予定の取組)
・廃プラ…安定的な原料へのリサイル化、設備効率向上による含水率の減少、トリム回収設備効率向上及自社マテリアルリサイクル原料化、圧縮固形設備によるRPF化
・廃アルカリ…設備の安定生産（トラブル削減することで洗浄液使用量の削減）、設備洗浄方法改善による削減、廃液処理設備の検討

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
・廃プラ：成形品と表面のシートを剥がし分別、樹脂材のみ原料へ還元

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
・廃プラ：従業員へ分別について認識を徹底させ、廃棄物削減に努める

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
※別紙（P22）管理体制参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度(令和7年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑
排出量	4347 t	0.4 t

(これまでに実施した取組)
廃酸…ボイラー設備を更新し排出量削減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑
排出量	4695 t	0.5 t

(今後実施する予定の取組)
廃酸…廃液処理設備の検討

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
・ガラス屑：瓶と金属蓋、キャップの分別

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
・今後も上記を継続

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
※別紙（P22）管理体制参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃油
	排出量	15 t	507 t
	(これまでに実施した取組) ・廃油…安定生産により廃油削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃油
	排出量	15 t	548 t
	(今後実施する予定の取組) ・木屑…パレットの仕様変更の検討（形状・材質）による使用の延命化 ・廃油…安定生産、トラブル削減、廃油処理設備の検討		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木くず：専用の木屑置場に保管、他の資材と混在しないよう管理
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後も上記を継続

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
※別紙（P22）管理体制参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	グラスウール、ケイカル	乾電池
	排出量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	グラスウール、ケイカル	乾電池
	排出量	0.2 t	0.1 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・設備修繕時に発生する廃棄物の金属類とガラスコンクリート陶磁器類に分別実施している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後も上記を継続

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
※別紙（P22）管理体制参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度(令和7年度)実績】

産業廃棄物の種類	蛍光灯・水銀灯	汚泥
排出量	0 t	0.5 t

(これまでに実施した取組)
・蛍光灯、誘導灯の一部ＬＥＤ化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	蛍光灯・水銀灯	汚泥
排出量	0.2 t	1.0 t

(今後実施する予定の取組)
・蛍光灯、誘導灯のＬＥＤ化を計画的に進める

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・「水銀使用製品産業廃棄物」置場表示し管理している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後も上記を継続

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
※別紙（P22）管理体制参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	金属屑	
	排出量	1 t	
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属屑	
	排出量	1 t	
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・設備修繕時に発生する金属類を産廃又有価として分別実施している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後も上記を継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度(令和7年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	636 t	0 t

(これまでに実施した取組)
・リサイクル設備及び生産技術の確立による、マテリアルリサイクルの推進。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	687 t	0 t

(今後実施する予定の取組)
・リサイクル粉設備の維持管理。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度(令和7年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

(これまでに実施した取組)
・特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

(今後実施する予定の取組)
・特に予定なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特に予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特に予定なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度(令和7年度)実績】

産業廃棄物の種類	木屑	廃油
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

(これまでに実施した取組)
・特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木屑	廃油
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

(今後実施する予定の取組)
・特に予定なし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度(令和7年度)実績】

産業廃棄物の種類	木屑	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

(これまでに実施した取組)
・特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木屑	廃油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

(今後実施する予定の取組)
・特に予定なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	グラスウール、ケイカル	乾電池
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	グラスウール、ケイカル	乾電池
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特に予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	グラスウール、ケイカル	乾電池
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	グラスウール、ケイカル	乾電池
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特に予定なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	蛍光灯・水銀灯	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	蛍光灯・水銀灯	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特に予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	蛍光灯・水銀灯	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	蛍光灯・水銀灯	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特に予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	グラスウール、ケイカル	乾電池
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	グラスウール、ケイカル	乾電池
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	蛍光灯・水銀灯	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	蛍光灯・水銀灯	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	金属屑	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属屑	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度(令和7年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ
全処理委託量	1525 t	3673 t
優良認定処理業者への処理委託量	84 t	3646 t
再生利用業者への処理委託量	1440 t	504 t
認定熱回収業者への処理委託量	1 t	509 t
認定回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	754 t	2370 t

(これまでに実施した取組)
・廃棄物処理毎に委託基準に従い実績のある委託業者と委託契約を書面による実施している。
・定期的に(1回／年)収集運搬、処理業者へ訪問、社内のガイドラインに従い廃棄物・環境保全・マニフェストの管理状況、地域とのコミュニケーションについて健全であるかチェック、又地域との意見交換等お願いしている。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度(令和7年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑
全処理委託量	4347 t	0.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	1818 t	0.4 t
再生利用業者への処理委託量	2530 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	3 t	0.4 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1830 t	0 t

(これまでに実施した取組)
・廃棄物処理毎に委託基準に従い実績のある委託業者と委託契約を書面による実施している。
・定期的に(1回／年)収集運搬、処理業者へ訪問、社内のガイドラインに従い廃棄物・環境保全・マニフェストの管理状況、地域とのコミュニケーションについて健全であるかチェック、又地域との意見交換等お願いしている。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度(令和7年度)実績】

産業廃棄物の種類	木屑	廃油
全処理委託量	15 t	507 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	107 t
再生利用業者への処理委託量	15 t	105 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	3 t
認定回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

(これまでに実施した取組)
・廃棄物処理毎に委託基準に従い実績のある委託業者と委託契約を書面による実施している。
・定期的に（1回／年）収集運搬、処理業者へ訪問、社内のガイドラインに従い廃棄物・環境保全・マニフェストの管理状況、地域とのコミュニケーションについて健全であるかチェック、又地域との意見交換等お願いしている。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度(令和7年度)実績】

産業廃棄物の種類	グラスウール、ケイカル	乾電池
全処理委託量	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

(これまでに実施した取組)
・廃棄物処理毎に委託基準に従い実績のある委託業者と委託契約を書面による実施している。
・定期的に(1回／年)収集運搬、処理業者へ訪問、社内のガイドラインに従い廃棄物・環境保全・マニフェストの管理状況、地域とのコミュニケーションについて健全であるかチェック、又地域との意見交換等お願いしている。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度(令和7年度)実績】

産業廃棄物の種類	蛍光灯・水銀灯	汚泥
全処理委託量	0 t	0.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0.5 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0.5 t
認定回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

(これまでに実施した取組)
・廃棄物処理毎に委託基準に従い実績のある委託業者と委託契約を書面による実施している。
・定期的に（1回／年）収集運搬、処理業者へ訪問、社内のガイドラインに従い廃棄物・環境保全・マニフェストの管理状況、地域とのコミュニケーションについて健全であるかチェック、又地域との意見交換等お願いしている。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度(令和7年度)実績】

産業廃棄物の種類	金属屑	
全処理委託量	1 t	
優良認定処理業者への処理委託量	1 t	
再生利用業者への処理委託量	0 t	
認定熱回収業者への処理委託量	1 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	

(これまでに実施した取組)
・廃棄物処理毎に委託基準に従い実績のある委託業者と委託契約を書面による実施している。
・定期的に(1回／年)収集運搬、処理業者へ訪問、社内のガイドラインに従い廃棄物・環境保全・マニフェストの管理状況、地域とのコミュニケーションについて健全であるかチェック、又地域との意見交換等お願いしている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ
全処理委託量	1647 t	3967 t
優良認定処理業者への処理委託量	91 t	3938 t
再生利用業者への処理委託量	1555 t	544 t
認定熱回収業者への処理委託量	1 t	550 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	814 t	2560 t

(今後実施する予定の取組)
・現在契約中の委託業者に優良認定処理業者に認証するようお願いし、 適正処理の維持に努める。
・収集運搬、処理業者の現地調査訪問の継続

※事務処理欄

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス屑
全処理委託量	4695 t	0.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	1963 t	0.5 t
再生利用業者への処理委託量	2732 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	3 t	0.5 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1976 t	0 t

(今後実施する予定の取組)
・現在契約中の委託業者に優良認定処理業者に認証するようお願いし、適正処理の維持に努める。
・収集運搬、処理業者の現地調査訪問の継続

※事務処理欄

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木屑	廃油
全処理委託量	15 t	548 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	116 t
再生利用業者への処理委託量	15 t	113 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	3 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

(今後実施する予定の取組)
・現在契約中の委託業者に優良認定処理業者に認証するようお願いし、適正処理の維持に努める。
・収集運搬、処理業者の現地調査訪問の継続

※事務処理欄

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	グラスウール、ケイカル	乾電池
全処理委託量	1 t	0.1 t
優良認定処理業者への処理委託量	1 t	0.1 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0.1 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0.1 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

(今後実施する予定の取組)
・現在契約中の委託業者に優良認定処理業者に認証するようお願いし、適正処理の維持に努める。
・収集運搬、処理業者の現地調査訪問の継続

※事務処理欄

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	蛍光灯・水銀灯	汚泥
全処理委託量	0.2 t	1 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t	1 t
再生利用業者への処理委託量	0.2 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.2 t	1 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

(今後実施する予定の取組)
・現在契約中の委託業者に優良認定処理業者に認証するようお願いし、適正処理の維持に努める。
・収集運搬、処理業者の現地調査訪問の継続

※事務処理欄

②計画

【目標】

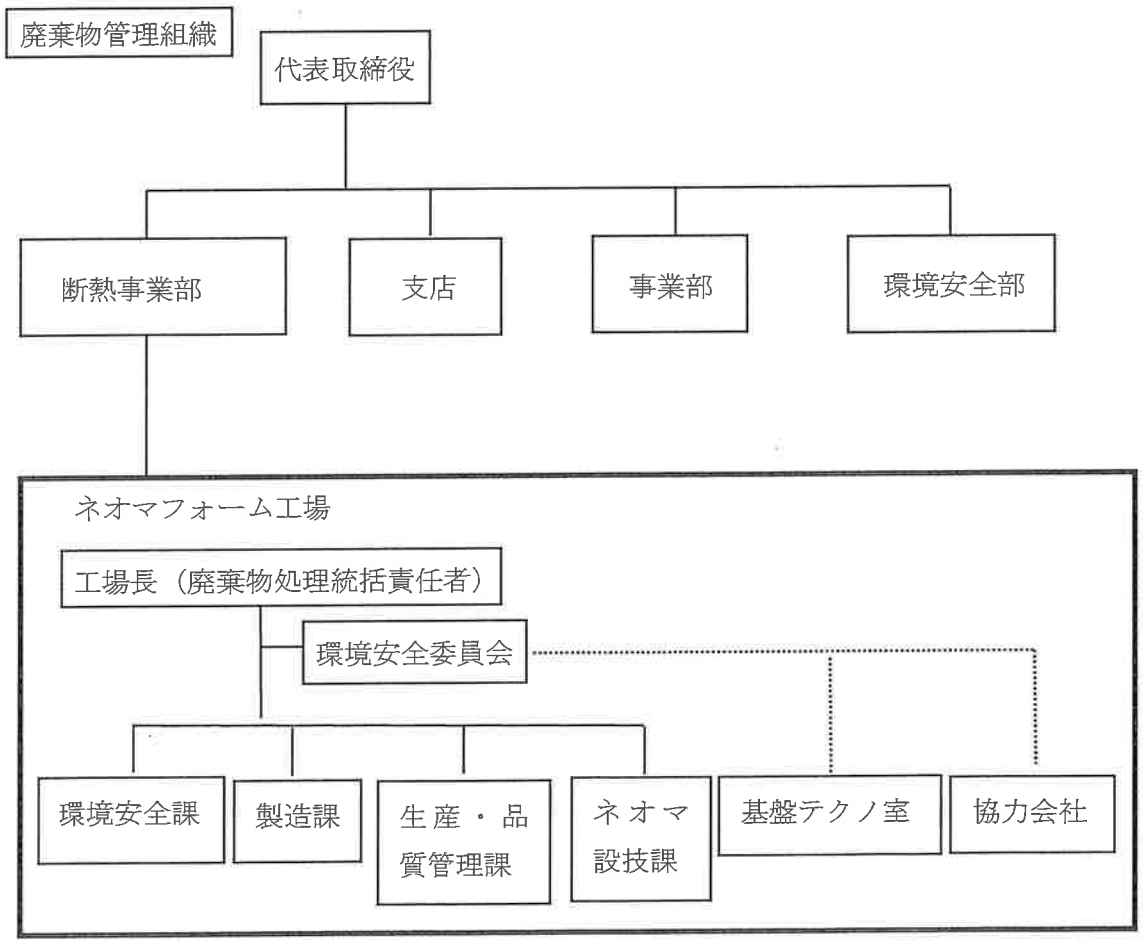
産業廃棄物の種類	金属屑	
全処理委託量	1 t	
優良認定処理業者への処理委託量	1 t	
再生利用業者への処理委託量	0 t	
認定熱回収業者への処理委託量	1 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	

(今後実施する予定の取組)
・現在契約中の委託業者に優良認定処理業者に認証するようお願いし、適正処理の維持に努める。
・収集運搬、処理業者の現地調査訪問の継続

※事務処理欄

産業廃棄物の処理に関する管理体制

統括責任者		所属：ネオマフォーム工場　　職・氏名：工場長　　山川　孝喜
廃棄物担当		組織名：　環境安全課　職・氏名：課長
役割	工場安全衛生委員会 環境会議	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長―工場長　　・委員―関連部署　課長、係長、係員 ・事務局―環境安全担当
	廃棄物処理統括責任者（工場長）	○廃棄物処理方針の策定 ○工場の廃棄物処理内規の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理委員（環境安全担当）	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関係会社社員に対する教育・啓発 ○従業員全員への分別実施の周知と管理 ○その他関係する事項



備考

前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2当該年度の6A30日までに提出すること。

「当該事業揚において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。

4「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った揚合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「ー」を記入すること。

7※欄は記入しないこと。